

第17回ぶっく・とーく

『女たちが立ち上がった』

—関東大震災と東京連合婦人会

今、注目の本を取り上げ、著者にお話を伺う“ぶっく・とーく”。第17回は、『女たちが立ち上がった—関東大震災と東京連合婦人会』（ドメス出版、2017）の編者折井美耶子さんにお話を伺います。聞き手には、国立女性教育会館客員研究員の青木玲子さんを迎えます。関東大震災後、ミルク配りに集まった女性たちが連帯し、社会を動かす大きな力になった歴史を知り、残された記録から女性たちの活動を編纂することについても考えていきます。災害の復興支援に携わる方、女性史やアーカイブに興味のある方、本書をすでに読まれた方も、まだという方も、ぜひご参加ください。

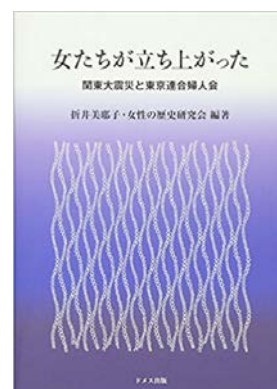


第16回ぶっく・とーくの様子

- 日時 2018年6月30日（土）13:30—15:30（受付開始 13:00）
- 話し手 おりい みやこ 折井 美耶子さん（女性史研究者）
- 聞き手 あおき れいこ 青木 玲子さん（国立女性教育会館客員研究員/公益財団法人日本女性学習財団理事）

プログラム

- 13:30 開始 “ぶっく・とーく”について
- 13:40 本書について、話し手・聞き手を交えて語る
- 14:30 質疑応答
- 15:30 終了（16:00まで会場開放）



- 対象： テーマ・本書に関心のある方なら、どなたでも
- 定員： 20名（先着順）
- 参加費： 1,500円（大学生500円、高校生以下は無料）
- 会場： 日本女子会館5階 スペース We learn（ウィラーン）
- 申込方法： 裏面申込書をFAXでお送りください。ホームページ、電話、メールでも受け付けます。
- 主催： 公益財団法人 日本女性学習財団
- 共催： 男女共同参画と災害・復興ネットワーク

■お申し込み・お問い合わせ

公益財団法人

日本女性学習財団

■〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館5階

■TEL: 03-3434-7575 ■FAX: 03-3434-8082

■HP: <http://www.jawe2011.jp> ■E-mail: jawe@nifty.com

折井 美耶子さん

女性史研究者

社会教育（女性学級等）に長年携わり、地域での女性史を編纂する活動等の指導協力を数多くあたる。『地域女性史入門』（ドメス出版、2001）、『近現代の女性史を考える—戦争・家族・売買春』（ドメス出版、2015）ほか著書、学術誌、紀要等への論文多数。

青木 玲子さん

独立行政法人国立女性教育会館 客員研究員
公益財団法人日本女性学習財団 理事

東京都婦人情報センター、東京ウィメンズプラザ情報担当主任専門員として、女性情報の収集・発信をする。越谷市男女共同参画支援センター所長、埼玉県男女共同参画推進センター事業コーディネータを経て現職。女性関連施設の情報発信や災害アーカイブの構築に積極的に携わっている。

交通アクセス

- JR浜松町駅北口・徒歩8分
- 都営浅草線・大江戸線大門A6出口・徒歩5分
- 都営三田線芝公園A3出口・徒歩2分



〒105-0011 港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 5階
TEL 03-3434-7575 / E-mail jawe@nifty.com

『女たちが立ち上がった—関東大震災と東京連合婦人会』

（折井美耶子・女性の歴史研究会 編著、ドメス出版、2017）

これまで語られたことがなかった「関東大震災と女性」。本書は、関東大震災後に女性たちが支援のために結集し、その後の婦人参政権獲得運動にもつながった、東京連合婦人会について、細部まで紹介している。震災直後、ミルクの配給のために集結した女性団体が次第に数を増し、「理屈なしに実行から始めませう」と声上がる。こうして、「これは東京の婦人たちの連合ぢやありませんか」と始まった活動は、現在の災害支援のあり方も問うている。

（月刊『We learn』2017年9月号「ざ・ぶっく」より）

第17回ぶっく・とーく 申込書

氏名	ふりがな (年代: 代)	所属等	
住所	〒 ー		
電話		FAX	
E-Mail			

FAX : 03-3434-8082

(日本女性学習財団)

財団 HP からもお申しいただけます。
個人情報(本財団事業以外)には使用しません。

